

平成30年度 大牟田市居住支援協議会 事業報告

事務局(社協と市・建築住宅課)を中心に構成団体より協力を得て、①住宅確保要配慮者への相談、入居支援及び入居後のサポート事業、②ワンストップ相談体制構築及び居住支援協議会事業改善の検討、③住まい情報の提供及び協議会活動等の周知を行った。

【年間実績表】

取組内容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議	● 総会								● 全体会議 研修会	
相談対応・ 入居支援・ 入居後 サポート	← 相談対応・入居支援・入居後サポート対応の実施(随時) →									
	← サポート部会・住宅管理部会の開催 →									
ワンストップ 相談体制 構築 及び 協議会事業 改善検討	← 不動産業者における住宅確保要配慮者に対する支援体制に関する調査研究の実施 →									
	← 関係機関との意見交換の実施 →									
	← 企画情報部会の開催 →									
周知活動			● 相談会			● セミナー 相談会			● 相談会	
	← フェイスブック・ホームページ・住みよかネット更新(随時) →									
	← 地域向けモデル事業(プロジェクト支援及び会議等への参加) →									

①住宅確保要配慮者への相談、入居支援及び入居後のサポート事業

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談対応の実施 入居支援の実施 入居者及び所有者フォロー対応 サポート部会・住宅管理部会の開催(計3回) 	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談件数110件 (入居相談70件・建物相談25件・その他15件) 契約件数 2件 (母子世帯1件、高齢者単身世帯1件) 協議会を通して契約をした11組の入居者と空き家所有者に対し、家賃の支払い、生活状況、建物の不具合等の定期的な確認及び支援を行った。 相談事例の検討を通して、住宅確保要配慮者の課題整理と必要な支援体制について検討を行った。
---	--

②ワンストップ相談体制構築及び居住支援協議会事業改善の検討

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 不動産業者における住宅確保要配慮者に対する支援体制に関する調査研究の実施 (有明工業高等専門学校 創造工学科建築コースと連携し、大牟田市内及び近隣の不動産業者を対象にアンケート調査及びヒアリング調査を実施した。) 生活支援及び空き家活用等を行う行政担当との意見交換の実施 <ol style="list-style-type: none"> 意見交換会の実施(計7回) 弁護士への法律相談 相談マニュアル改訂版の作成 企画情報部会の開催(計4回) 	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 35件のアンケート回答(回収率31.3%)があり、アンケート調査で承諾を受けた不動産業者2社のヒアリング調査を行った。 その結果、不安やトラブルを解消するための支援実施の必要性が見えてきた。 大牟田市全体を通してワンストップの相談体制構築に向けて検討を行うための意見交換を実施し、相談マニュアルの改訂を行った。 事業計画を具現化するため、事務局と居住支援協議会参加団体により構成した実務者メンバーにより検討及び情報共有を行った。
--	--



③住まい情報の提供及び協議会活動等の周知

(概要)

- フェイスブック及びホームページの更新(随時)
- 『住みよかネット』掲載情報の充実

- 無料相談会の実施

日時:①平成30年8月11日(土)

10:00～12:00

②平成30年11月20日(火)

※セミナーと同日開催

③平成31年2月3日(日)

10:00～12:00

会場:①③総合福祉センター

②大牟田文化会館 小ホール

相談件数:①13件・②0件・③18件

主な相談内容

①の内訳…処分8件・活用5件

③の内訳…処分8件・活用7件・管理3件

- セミナーの開催

日時:平成30年11月20日(火)

14:00～16:30

会場:大牟田文化会館 小ホール

テーマ:人口減少時代における空き家問題
解決セミナーin おおむた
～空き家問題は、何が問題なのか
! ?～

参加者:130名

(一般市民、行政、福祉・不動産関係者等)

- 地域向けモデル事業の実施

(成果)

- 居住支援協議会の団体紹介、活動内容・設立目的、定期的な活動状況を随時発信した。
- 所有者から提供を受けた空き家情報の掲載や高齢者向け住まいに関する情報更新の呼びかけを行い、住宅確保要配慮者に対する住まいの情報発信を行った。
平成30年度空き家情報掲載件数:8件
- 空き家所有者からの相談対応を行い、4件の空き家提供に繋がった。



- 医療・介護の専門職と連携し「誰もが集える」地域の交流拠点として平成29年度にオープンした空き家(名称:みんなの家リクス)の活用を進めるため、定例会議へ参加するなど、支援を行った。